

第135期 報告書

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日



代表取締役会長
里見 多一



代表取締役社長
松本 満

トップメッセージ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第135期の期末報告書をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

皆様ご承知の通り、当期における国内経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に当初は緩やかな回復基調でありましたが、期後半は米中貿易摩擦の長期化により製造業を中心に景気は悪化するとともに、消費税率引き上げの影響もあり、大変厳しい状況で推移いたしました。世界経済においても、中国経済の成長が鈍化した結果、各国経済も低水準で推移いたしました。また、期末にかけては新型コロナウイルスの感染拡大により、景気の先行きは一段と不透明な状況となりました。

当社グループを取り巻く事業環境は、主要取引先であります自動車業界では、消費税増税後の国内自動車生産は減少傾向で推移するとともに、中国の生産台数も前年割れが続くなど、厳しい状況で推移いたしました。もう一つの柱であります鉄鋼業界でも、海外メーカーとの競争激化により、厳しい事業環境で推移いたしました。

このような状況において、当社グループでは、今年度より第3次中期経営計画をスタートいたしました。表面改質のスペシャリストとして真のグローバルカンパニーを目指すため、3G経営（グローバル、グループ、ガバナンス）の確立に向け「グローバル競争に打ち勝つ成長戦略」、「グループ経営の最適化」、「ガバナンス改革」を基本方針として、グループ一丸となってガバナンスの強化に取り組むなど、目標達成に向けた諸施策を推進してまいりました。創業の精神である「誠実さと正直さ」に立ち返り、お客様に向き合い、迅速で的確なサービスと高品質製品の供給のため、培ってきたコア技術を基軸にイノベーションを起こしながら、グローバルな品質改善活動と研究開発体制の強化に努めてまいりました。

この結果、当期の連結業績は下記の通りとなりました。

なお、当期の期末配当金につきましては、業績及び配当方針を勘案し、1株につき13円とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による消費の落込みや生産活動の停滞により、世界経済は急激に減速することが懸念されており、当社グループの事業におきましても、主要取引先である自動車業界及び鉄鋼業界は予断を許さない状況にあり、先行き不透明な状況が続くと思われれます。

このような経済環境のもと、当社グループでは、第3次中期経営計画の2年目を迎え、引き続き表面改質のスペシャリストとして真のグローバルカンパニーを目指すため、既存事業の収益力強化を図るとともに、新規分野にも積極的にチャレンジし、企業風土改革と意識改革にも取り組むなど、持続可能な成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

決算ハイライト

売上高

1,190億円
前期比 7.9%減



営業利益

126億円
前期比 26.0%減



親会社株主に帰属する当期純利益

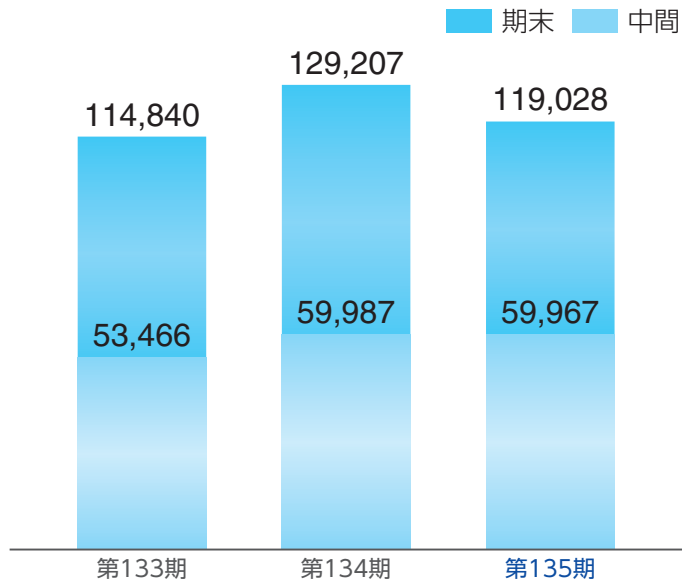
94億円
前期比 17.3%減



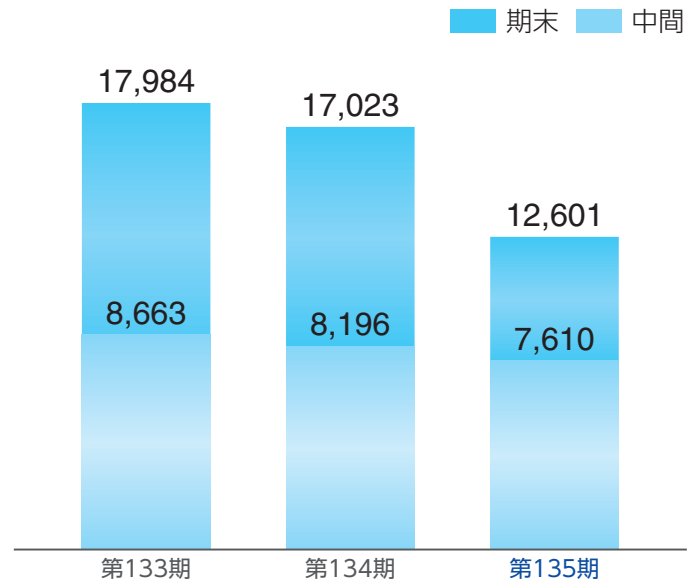


連結業績の推移

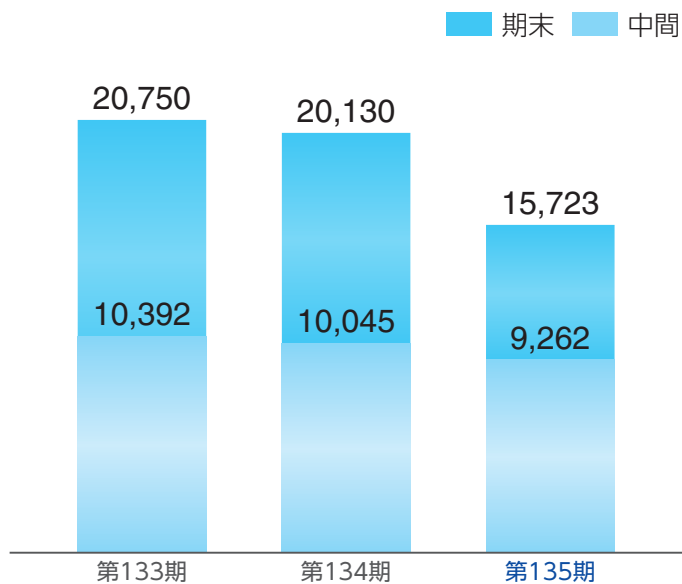
売上高 (単位：百万円)



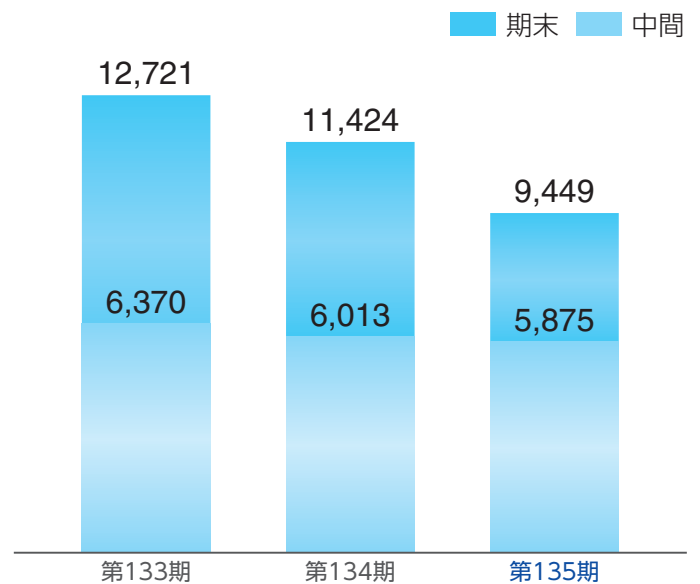
営業利益 (単位：百万円)



経常利益 (単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)



会社概要【2020年3月31日現在】

| | |
|----------|--|
| 社名 | 日本パーカライジング株式会社 NIHON PARKERIZING CO.,LTD. |
| 設立 | 1928年7月12日 |
| 本社所在地 | 東京都中央区日本橋1-15-1 |
| 資本金 | 45億6,039万円 |
| 従業員数(連結) | 4,385名 |
| 株式上場市場 | 東京証券取引所市場1部 |

役員【2020年6月26日現在】

| | | |
|---------|--------|------------------|
| 代表取締役会長 | 里見 多一 | 最高経営責任者 |
| 代表取締役社長 | 松本 満 | 最高執行責任者 |
| 取締役 | 田村 裕保 | 管理本部長 |
| 取締役 | 吉田 昌之 | 技術本部長 兼 総合技術研究所長 |
| 社外取締役 | 江森 史麻子 | |
| 社外取締役 | 森 達哉 | |
| 取締役 | 細金 逸人 | 常勤監査等委員 |
| 社外取締役 | 久保田 正治 | 監査等委員 |
| 社外取締役 | 近 浩二 | 監査等委員 |



セグメント別の概況（事業内容と売上構成割合）

その他

ビルメンテナンス事業、運送事業、太陽光発電事業他

4,477百万円 (3.7%)



薬品事業

金属表面処理剤、防錆油、圧延油、塗料、工業用洗浄剤、無電解ニッケルめっき液の製造・販売他

44,854百万円 (37.7%)



加工事業

防錆加工、熱処理加工・めっき処理他

45,199百万円 (38.0%)



装置事業

金属表面処理装置、粉体塗装装置、熱交換器等の製造・販売他

24,497百万円 (20.6%)



連結売上高
119,028百万円



主な事業所

本社



総合技術研究所



製造部

平塚第一工場
千葉工場
関西工場
福山第二工場
九州第一工場

防錆・熱処理事業部

仙台工場
新潟工場
宇都宮工場
前橋工場
勝田工場
古河工場
平塚第二工場
愛知工場
伊丹工場
福山工場
九州第二工場

西日本事業部

中京営業所
関西営業所
山陽営業所
九州営業所

東日本事業部

北関東営業所
関東営業所
千葉営業所



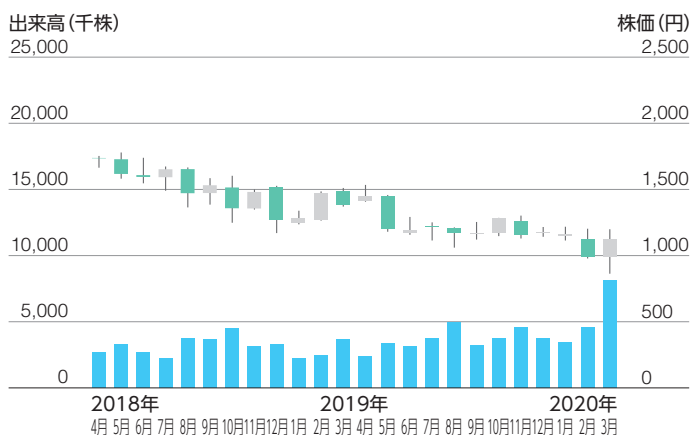
株式の状況

- (1) 発行可能株式総数 300,000,000株
 (2) 発行済株式の総数 132,604,524株
 (3) 当期末株主数 4,157名
 (4) 大株主

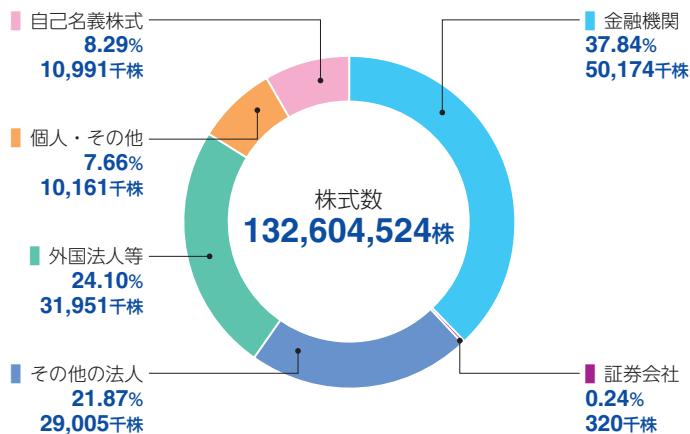
| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|--|---------|---------|
| NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS | 8,783 | 7.22 |
| 日本生命保険相互会社 | 7,015 | 5.76 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 5,605 | 4.60 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 5,578 | 4.58 |
| 株式会社 千葉銀行 | 4,765 | 3.91 |
| 株式会社 雄元 | 4,708 | 3.87 |
| 公益財団法人里見奨学会 | 4,633 | 3.81 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 4,108 | 3.37 |
| 株式会社 三井住友銀行 | 3,113 | 2.56 |
| みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 日本製鉄退職金口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社 | 2,664 | 2.19 |

- (注) 1. 当社は、自己株式10,991千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
 2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
 3. 当社は「株式給付信託(BBT)」を導入しており、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)(以下「信託E口」といいます。)が当社株式176千株を取得しております。信託E口が所有する当社株式については、自己株式に含めておりません。

株価の推移



所有者別分布の状況



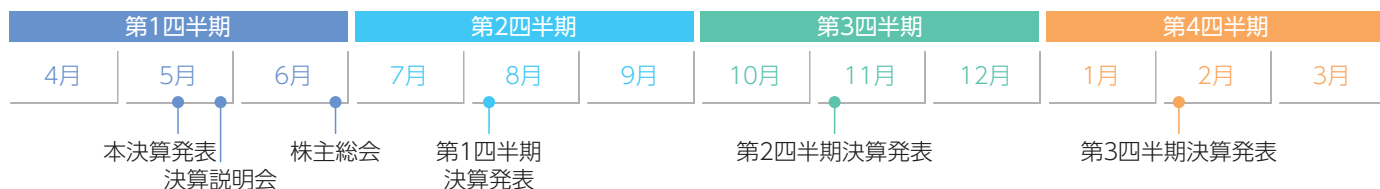
株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 配当金 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
 *公告掲載の当社ホームページアドレス
<https://www.parker.co.jp/>

- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 電話 0120 (232) 711 (通話料無料)
 郵送先 〒137-8081
 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

- 【ご注意】
 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
 2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、上記特別口座の管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

IRカレンダー



ホームページのご案内

詳しいIR情報は当社ホームページにて掲載しています。

日本パーカライジング
<https://www.parker.co.jp/>

検索

